

～衛生習慣を“しなければいけない”から“したい”ものへ～

街の玄関口で、外出する人の衛生行動を促す実証実験 新宿駅に「キレイの投票所」を期間限定で開所

ライオン株式会社（代表取締役社長・掬川 正純）は、街中での衛生的な行動を促進するため、東日本旅客鉄道株式会社（以下、JR 東日本）の協力のもと、JR 新宿駅での実証実験を11月16日（火）から行います。この実験は、JR 新宿駅新南口改札前にある「Suicaのペンギン広場」の一角に「キレイの投票所」と題して、生活者に二択の質問への回答（投票）を行うと同時に外出中の手指消毒を促すスペースを設置し、街の玄関口である駅を舞台に、外出する人の手指消毒等の衛生的な行動習慣を促す実証実験です。

楽しさではじまる、街の衛生習慣。

キレイの
投票所



■本実証実験の狙い

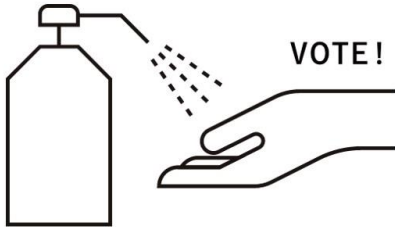
新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大から、間もなく2年経ちます。感染症の予防のためには、「外出時にマスクをする」、「手指を消毒する」、「3密を避ける」等の感染防止行動の必要性が指摘され、多くの人の生活習慣として根づいてきました。しかし一方で、こうした行動にストレスを感じるといった声も聞かれます。ライオンでは、こうした衛生習慣を「しなければいけない」という義務的なものではなく、積極的に「したい」と思えるものに変えることで、人々のより良い衛生習慣づくりに貢献できるのではないかと考えました。この考え方は、ライオンの「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」という企業のパーパス（存在意義）に沿ったものです。

■実証実験の内容

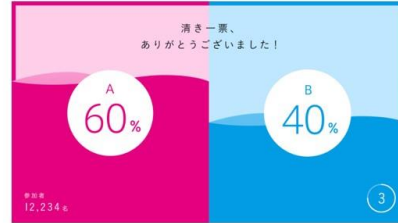
日本一の乗降客数を誇る JR 新宿駅の駅前広場「Suicaのペンギン広場」を活用し、11月16日（火）～11月29日（月）に「キレイの投票所」と題した手指消毒スタンド（オートディスペンサー）を設置します。スタンドには2つの手指消毒液が並べて置かれ、その背面のデジタルサイネージに「来年の予定を立てるなら？ スポーツ観戦？ 芸術鑑賞？」「未来の新宿はどんな街になってほしい？ 豊かな自然にあふれるグリーンな街？ 近未来的なテクノロジーにあふれるスマートな街？」等の二択の回答を提示。来街者が二択のどちらかを選ぶ行為としてAの消毒液またはBの消毒液を利用すると、センサーが検知して選択した回答をそれぞれカウントする仕組みです。

どうやって投票するの？

STEP 1 画面に表示されている質問に、AかBのどちらかに手をかざすと「投票」ができます。



STEP 2 結果画面がすぐに表示されます。これで「投票」終了です。



なお、2つの手指消毒液※1の内容物は同じもの、パッケージやそのデザインも同じ仕様です。

※1

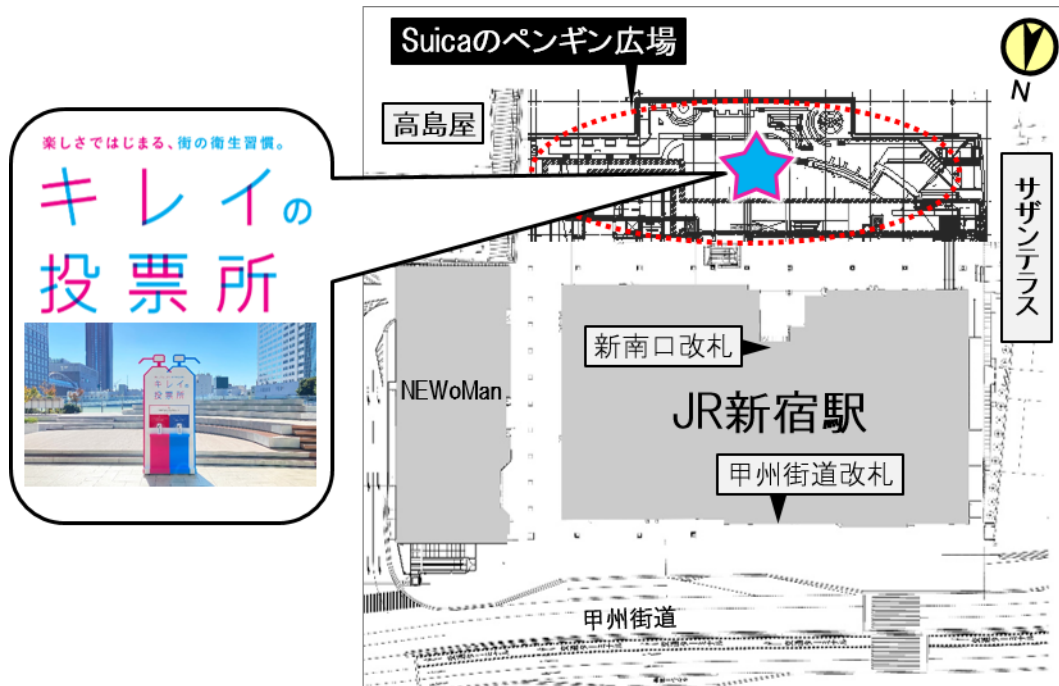
【手指消毒液】「サニテートA ハンドミスト」(指定医薬部外品、無香料)
ライオンハイジーン(株)製の手指用消毒剤(アルコール基剤配合)を使用いたします。保湿剤(グリセリン)配合で、素早く手指になじみ、しっとりサラサラの使用感です。多くの飲食店や商業施設などで、ご利用頂いております。

《キレイの投票所 実施概要》

【設置期間】 2021年11月16日(火)～11月29日(月) 7:30～21:30 ※雨天・強風時は中止いたします

【設置場所】 JR新宿駅新南口改札前「Suicaのペンギン広場」

<https://goo.gl/maps/CaomRjP6oR8o7ZMt9>



【二択の質問例】

「『今日も一日頑張った～！』思わず買っちゃうのは？ お酒？ スイーツ？」

「コロナ禍での最近の悩みは？ 肩こり？目の疲れ？」

「来年の予定を立てるなら？ スポーツ観戦？芸術鑑賞？」

「未来の新宿はどんな街になってほしい？ 豊かな自然にあふれるグリーンな街？ 近未来的なテクノロジーにあふれるスマートな街？」

等、計 14 パターンの質問と二択の回答を時間帯により切り替え順次表示

【「キレイの投票所」ウェブサイト】

<https://lidea.today/academy/hygienevote/>



■これまでの取り組みと今後の展開について

ライオンは 2021 年 1 月に、39 の国・地域からスタートアップ 351 社が応募したオープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」に参画。※2 「未来のまち」を共創するという考えの下、手指消毒等の衛生行動のデータを取得し、衛生意識を見える化する「衛生ステーション」構想をスタートいたしました。生活や街において、移動のハブであり、かつ街の玄関口である駅を拠点に衛生行動をモニタリングしていくことで、利用する方が互いに協力して街の衛生を守っていく関係を目指していきます。2021 年 6 月には、丸の内のコワーキングスペース「point 0 marunouchi (ポイントゼロ)」にて手指消毒の実証実験を行い、その結果を踏まえ今回の「キレイの投票所」の実証実験を行うに至っております。※3

実証実験の結果は、ライオンのホームページ内「キレイの投票所」ウェブサイトにて実証実験終了後に報告致します。また、12 月 15 日を目途に報道関係者の皆様向けの参考資料として公表する予定です。実験結果を踏まえ、施策の有効性が認められた場合、JR 東日本のその他の駅構内をはじめ、将来的には様々な場所での設置も視野に入れていきます。

ライオンは、2021 年 11 月 2 日に「SmartCityX」二期目にもサポーターとして参画を発表しております。更なる取り組みの拡大にご期待ください。※4

ライオンは「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する (ReDesign)」というパーパスを起点として、商品やサービスだけでなく、啓発活動や情報の発信により人々の「健康な生活習慣づくり」に貢献してまいります。

また、今回の「キレイの投票所」は、ライオンの成長戦略の 1 つである「4 つの提供価値領域」の 1 つである「インフェクションコントロール」の取り組みの一環になります。衛生を中心とした生活習慣づくりにより、今後も生活者の皆さまとともに、清潔に暮らせる社会の実現を目指してまいります。

※2

オープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」39の国・地域からスタートアップ351社が応募。新たにサポーター企業5社参画。本年2月から事業共創プログラムを本格開始（2021年1月13日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000029.000015315.html>

※3

グローバル・オープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」一年目の成果として、大企業及びスタートアップの事業共創案件を発表～予防医療、公衆衛生、防災等の領域で実証実験を開始～（2021年6月23日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000037.000015315.html>

スクラムスタジオ、「SmartCityX」一年目の成果として出光興産、ライオン、JR東らの共創を発表（2021年6月23日）

<https://bizzone.jp/article/detail/6246>

※4

グローバル・オープンイノベーション・プログラム「SmartCityX」プログラム二期目の開始を発表～新たな大企業や自治体が参画、スタートアップ募集を開始～（2021年11月2日）

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040.000015315.html>

以上

お問い合わせ窓口

ライオン株式会社 〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7

<報道関係の方> コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661